

住民意向調査速報版（浪江町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、浪江町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

浪江町

調査主体	復興庁、福島県、浪江町
調査対象	世帯の代表者（7,048 世帯）
実施期間	令和 6 年 11 月 5 日～11 月 24 日
回答者数	3,136 世帯（回収率 44.5%）

2. 調査結果のポイント

別紙のとおり

本件連絡先 （制度班）担当：名須川、向野 電話：03-6328-0250（直通）
--

浪江町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、浪江町の共同調査は 13 回目。

(1) 帰還の意向

既に浪江町で生活している	10.7% (11.2%)
戻りたいと考えている	12.4% (12.7%)
まだ判断がつかない	23.9% (23.3%)
戻らないと決めている	51.3% (51.5%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R5.11)結果

(2) まだ判断がつかない理由 (上位抜粋)

医療環境に不安があるから	61.8% (62.8%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	44.1% (44.8%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	40.1% (41.2%)
元の住家を解体しており、戻る家がないから	37.9% (40.2%)
介護・福祉サービスに不安があるから	37.4% (39.1%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	56.5% (56.4%)
元の住家を解体しており、戻る家がないから	50.8% (54.2%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	43.7% (41.9%)
医療環境に不安があるから	40.8% (41.2%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	25.4% (26.8%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ回答